

20230729 中央最低賃金審議会 目安小委員会 第5回記録

9:55 公益委員 4人着席済み 厚労省側 8人(女性1)
委員入場 使用者側から 4人 おともは6人増えて8人(女性3)
労働者側 4人 おともは3人→ふえて10人(女性3人)

10:01 第5回小委員会開会 佐久間欠席 首藤途中退席
個別に 公・使会議から

労働側委員退席

10:05 傍聴者退席 控室 傍聴者 24人(うち女性 7人?) 傍聴席は33あり

17:05 再開

公益委員見解 読み上げ・配布

A 41円 B 40円 C 39円

全国加重平均 1002円 42円引き上げ

地方最低賃金審議会の自主性発揮ができるよう

連合第7回 3.58% 有期短時間 5.01% 経団連大手 3.91%

第4表①②は2.1% 昨年の1.5%上回る。③は2.5% 昨年プラス0.2%

賃金支払い能力は個々の企業を見るのではなく、統計数字を見る。企業利益上昇、日銀短観も6月以降プラスに価格転嫁できた企業も39.3%に上昇。しかし全くできない企業も増加し2極化している。企業物価指数は、6月4.1%と消費者物価指数を上回っている。

持ち家の帰属除く総合 4%超えて上昇。基礎的主出項目、特にエネルギー対策で1%程度抑えられているが、10月以降は決まっておらず、上昇予想される。

各ランクでは、加重平均1000円達成にむけ真摯に公労使で審議してきた。人手不足対策での無理した賃上げとう指摘もあった。

第4表と賃上げ結果差がある。しかし足元で4%前後の物価上昇、昨年10月以降で消費者物価上昇4.3%(昨年の3.3%アップを上回る)。これら勘案し各ランクの引き上げ額は4.3%を基準とすることが望ましい。

地域間格差 3ランクに見直して地域間格差を是正する観点から、すくなくとも最高最低間格差を縮める必要あり。Aランク物価上昇大きいのが、差を1円とするのが適当と考える。最高額と最低額の差79.6→80.6%に差は縮小。

結果として労働者の生計費を重視した結果となった。中小企業への環境整備、特に地方、官公需の対応などを要望する。業務改善助成金を活用しやすくする、最低賃金低い地域に重点的に支援する、周知徹底など
価格転嫁対策の許可

地方審への期待

目安、拘束するものではない。自主性発揮を期待する。今年度の目安額は、消費者物価を上回る必要があること、地域間格差是正を図るものであることを考慮してのものである。

公益委員見解 小委員会見解として中賃に示したいが

土井委員 地方中小企業の問題示してきたが 使用者側の意見を 公労使の枠組みを尊重するために認めたい

会長 公益委員会見解を小委員会見解としたい

小委員会報告案 読み上げ

十分審議を尽くした

労働者側見解 デフレマインドを転換する労使交渉、年収 200 万程度、国際的にみても低位。990 円うわまらなければ生活できない。物価上昇、エネルギー対策が終了する 10 月以降を見通して、考慮必要。人材不足の中で人材確保が必要で、地域間格差是正必要。誰もが時給 1000 円に向け、

公益委員見解に不満の意を示した。

使用者見解

00 融資返済など、小規模企業倒産多い。年収の壁による就業調整など指摘した。引き上げの必要性は理解、地域間格差の是正必要とも認識している、

第 4 表結果を最も重視する見解を示した。納得感のある結論、慎重審議必要。公益見解に不満の意示す。

労使意見一致せず、目安を定めるに至らなかった

公益委員見解を地方審に示す、地方審の自主性尊重、政府の取り組み「助成金」など拡充要望。赤字法人にも対策を。周知徹底要望。価格転嫁不可欠、社会的認識に。官からの業務委託など

使用者側 わきた

公益委員見解とりまとめに異論ないが、地方審への 納得性のある報告、果たしてきたが、地方においても納得感ある審議、目安位置づけ・根拠を地方公労使にも。

労働者側

3 要素データを踏まえながら論議尽くしてきた。」5 回の議論で公益見解を取りまとめてきた。昨年より充実したデータ提供した事務方にも感謝

使用者 につた

中小企業の苦しい実態、5 回にわたる真摯な議論重ねてきた。労側・事務方にも感謝。

地方審に正確に伝達され、より充実した議論がなされるように。

本審日程 本日 18:20 から開催する。

委員から控室に、その後傍聴者。

18:23 本審しばらくおまち 答申手交は撮影可、その後局長挨拶あり。

18:30

67 回審議会開催 欠席 1 オンライン 2

目安小委 第 5 回で報告とりまとめ。6 月 30 日本審から諮問受け小委 5 回開催

目安については労使一致得ず。公益見解を本審に示すことは了承。

事務局 公益委員見解よみあげ

小委員会報告としてとりまとめ、審議会答申案を配布、読み上げ。

事務局朗読

厚生労働大臣あて 審議会長名

- 1 目安金額意見の一致を見なかった
- 2 公益委員見解・小委委員会報告を地方審に提示
- 3 地方審、自主性発揮を期待
- 4 賃上げへの環境整備
- 5 生産性向上支援、業務改善助成金活用促進へ周知など要望
- 6 賃上げ税制や補助金等の拡充 赤字企業も含め
- 7 価格転嫁対策 「取引適正化が必要」を社会全体で共有すること

答申案への意見は？ 特になし

案の通り答申とする。

労働基準局長へ手交

局長挨拶

3要素と地域間格差を検討

地域審議会円滑に進むよう進めたい

会長 他に何かあるか ないようなので審議会終了

傍聴者から退出